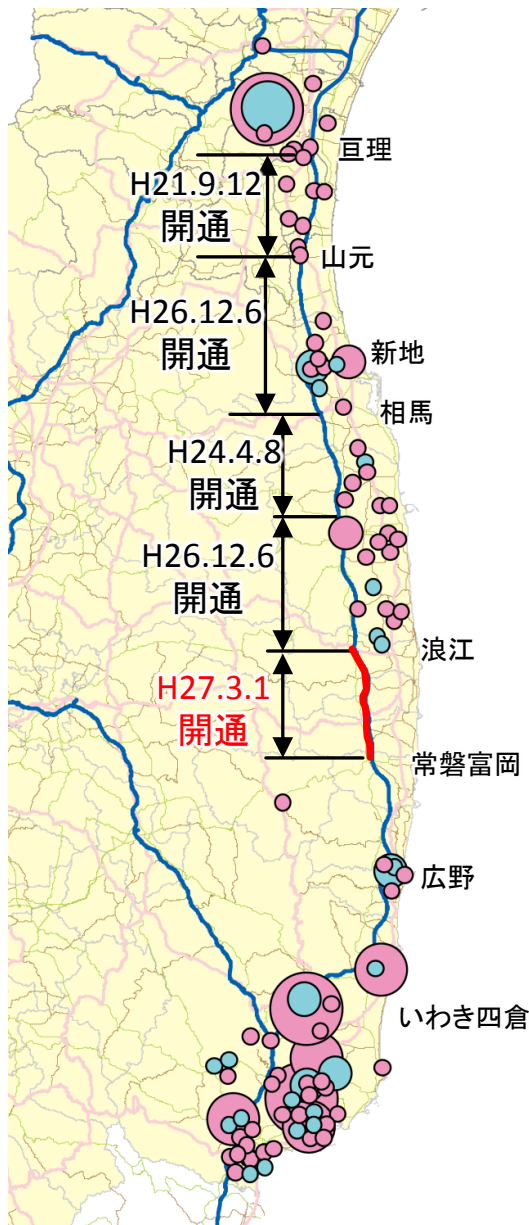


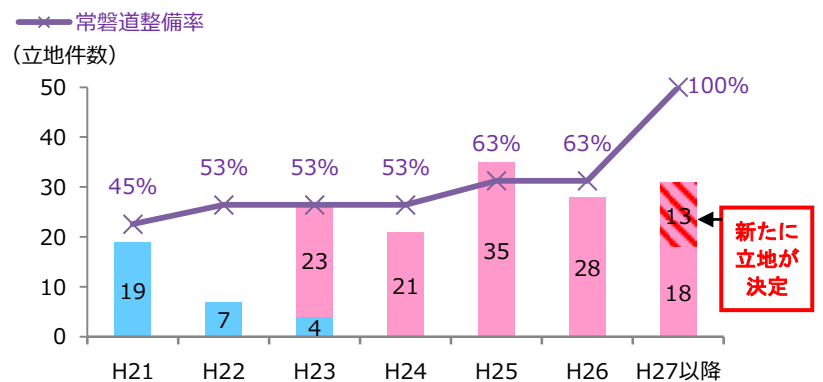
福島県浜通り地方への企業立地増加

■山元～亘理間が開通した平成21年以降149件の工場が立地。全線開通以降新たに13件の企業立地が決定

▼常磐道沿線地域での工場増新設の動き



▼常磐自動車道沿線地域の工場増新設件数の推移



常磐自動車道沿線地域：いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯舘村、
 広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、
 双葉町、浪江町、葛尾村、名取市、岩沼市、
 亘理町、山元町

※常磐道整備率は、各年４月１日時点

出典：福島県企業立地課

宮城県産業立地推進課

※企業立地年は、土地取得時の操業予定年を示す

■南相馬市の特殊鉄鋼加工企業の声

- 仙台市-いわき市間の輸送時間短縮、東北道の冬期通行止めのリスク回避等で立地を決定した。
- 常磐道の開通で、仙台の営業拠点からの部材の取り寄せや、関東方面への出荷がしやすくなる。
- 5月に新工場が完成し、仙台と南相馬間の部材や製品の輸送が今後、増加することになるだろう。

